音楽学部

演奏学科 Department of Performing Arts School of Music
応用音楽学科 Department of Applied Music School of Music

MUKOJO ACTION 2019-2039

武庫川女子大学

2023

一人ひとりの主体性を育み、夢の実現へ導く 少人数教育

音楽学部には、演奏学科（定員30人）と応用音楽学科（定員20人）があります。演奏学科では、多様な音楽表現の追求と舞台上の実践を通し、演奏家として、また音楽教育者として活躍できる人材を育てます。応用音楽学科では、音楽療法、アートマネジメント、音楽教育といった音楽の専門知識・技術を社会に応用できる専門家を養成します。いずれの学科も実技レッスン科目はすべて個人レッスンであり、クラス授業も少人数です。

また、学生と教員の距離が近く、アットホームで温かい雰囲気のなか、演奏ホール、教室、練習室など施設・設備が整い、学習に集中できる環境にあります。

音楽学部学科構成（2022年度）

武庫川女子大学 音楽学部

演奏学科
- 声楽専修
- ピアノ専修
- 管弦楽器専修
  - ・ヴァイオリン
  - ・ヴィオラ
  - ・チェロ
  - ・フルート
  - ・オーボエ
  - ・クラリネット
  - ・ファゴット
  - ・サクソフォン
  - ・ホルン
  - ・トランペット
  - ・トロンボーン

応用音楽学科
- 音楽療法専修
- 音楽活用専修

音楽学部カリキュラム

演奏学科

1年次から4年次まで開講している「主専実技」は週1回45分間の個人レッスン。4年次後期「卒業演奏」でのレッスンを経て、4年間の成果を卒業演奏会において発表します。学校の音楽教員や、多様な場での音楽指導者として必要な能力を育成するカリキュラムも充実しています。

応用音楽学科

1、2年次に音楽の基本的な知識や現場で必要な演奏技能を習得します。2年次の特別学期に3年次のゼミ（音楽療法、音楽文化事業、音楽教育、音楽心理学）に関する説明を受け、自ら専門分野を選択し、3年次の「演習」、4年次の「卒業論文」で各自の研究を深めます。

初年次教育

新入生はクラスごとに「初期演習」を受講します。大学での学びについて講義などで理解を深め、キャリア意識を高めます。音楽学部では演奏学科と応用音楽学科が合同で行う時間も多く、音楽について様々な角度から学ぶだけでなく、2年次の文化祭ミュージカルに向けた準備を進めます。また、北摂キャンパス「丹嶺学苑（たんれいがくえん）研修センター」で、1泊2日※の研修があります。（※2022年度は日帰り研修）

2年次演習

情報収集力、課題発見・課題解決力、コミュニケーション力の習得を目指します。音楽の基礎学習をはじめ、2学科の学生が集まったグループでの楽曲や作曲家をテーマにした調査研究・発表などを行います。

演奏学科

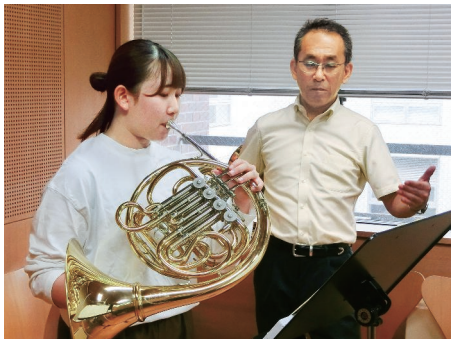
	基礎教育科目	専門教育科目	
1年次	初期演習Ⅰ 初期演習Ⅱ （音楽探究への誘い） 英語 Oral Communication 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	主専実技Ⅰ 学内演奏Ⅰ 副専ピアノ実技Ⅰ 副専声楽実技Ⅰ 合唱Ⅰ 合奏Ⅰ ソルフェージュⅠ	音楽史Ⅰ 和声法 イタリア語表現演習
2年次	2年次演習 〈TOEIC®認定英語Ⅰ~Ⅳ〉 1~4年次において、学科が指定するTOEIC®の基準に到達すれば、その程度に応じて基礎教育科目の単位として認定されます（2~8単位）。	主専実技Ⅱ 学内演奏Ⅱ 副専ピアノ実技Ⅱ 副専声楽実技Ⅱ 合唱Ⅱ 合奏Ⅱ ソルフェージュⅡ 協奏曲Ⅰ	声楽演奏研究Ⅰ 音楽史Ⅱ 旋律と和声 指揮法Ⅰ 指揮法Ⅱ 即興演奏 教育伴奏法 副科器楽
3年次		主専実技Ⅲ 学内演奏Ⅲ 副専ピアノ実技Ⅲ 副専声楽実技Ⅲ 合唱Ⅲ 合奏Ⅲ 協奏曲Ⅱ 演技演習	声楽演奏研究Ⅱ 楽曲研究 電子楽器 器楽合奏 邦楽 チェンバロ 重奏演習
4年次		主専実技Ⅳ 卒業演奏 副専ピアノ実技Ⅳ 合唱指導法 合奏Ⅳ 合奏指導法 オペラ	ピアノアンサンブル ピアノ指導法 伴奏法 声楽演奏研究Ⅲ 作･編曲法 作家作品研究Ⅰ 作家作品研究Ⅱ

（注）このほか、共通教育科目の中の「ドイツ語」または「フランス語」の履修が必要です。

応用音楽学科

	基礎教育科目	専門教育科目	
1年次	初期演習Ⅰ 初期演習Ⅱ （音楽探究への誘い） 英語 Oral Communication 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	環境と音楽 音楽療法論Ⅰ 音楽療法論Ⅱ 音楽療法実習Ⅰ 音楽社会学概論 発達心理学	学内演奏Ⅰ ピアノ実技Ⅰ 声楽実技Ⅰ 和声法 ソルフェージュⅠ 合唱Ⅰ 音楽史Ⅰ イタリア語表現演習
2年次	2年次演習 応用英語Ⅰ 〈TOEIC®認定英語Ⅰ~Ⅳ〉 1~4年次において、学科が指定するTOEIC®の基準に到達すれば、その程度に応じて基礎教育科目の単位として認定されます（2~8単位）。	音楽とマルチメディア 音楽療法実習Ⅱ 即興演奏 実用楽器入門 ダンスと動き 教育伴奏法 臨床心理学Ⅰ 指揮法Ⅰ 指揮法Ⅱ	学内演奏Ⅱ ピアノ実技Ⅱ 声楽実技Ⅱ 旋律と和声 ソルフェージュⅡ 合唱Ⅱ 音楽史Ⅱ 音楽心理学 介護論
3年次	応用英語Ⅱ	音楽文化事業企画演習 生涯学習関係論Ⅰ 生涯学習関係論Ⅱ 歌唱･合唱指導法 音楽療法各論Ⅰ 音楽療法演習 音楽療法研究法 音楽療法実習Ⅲ レパートリーラーニング	臨床心理学Ⅱ 障害児教育 臨床医学各論Ⅰ 臨床医学各論Ⅱ 演習 学内演奏Ⅲ ピアノ実技Ⅲ 合唱Ⅲ 器楽合奏 社会福祉論 医学概論
4年次		卒業論文 表現技術演習 音楽文化創造学 音楽活用実習 音楽療法実習Ⅳ 音楽療法各論Ⅱ 音楽療法各論Ⅲ	音楽療法総論 ピアノ実技Ⅳ 音楽教育学研究 作･編曲法 楽器･合奏指導法 邦楽

※2学科共、カリキュラムは2022年4月入学の学生のものです。



演奏学科

Department of Performing Arts

●声楽専修　●ピアノ専修
●管弦楽器専修
ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・オーボエ・クラリネット
ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーン

アーティストの思考・感性で社会人として輝く

個々の技術向上はもちろんのこと、多角的に音楽を理解するために様々な科目を用意。少人数の授業で深く学べます。また国立ミラノG.ヴェルディ音楽院元教授ヴィトーリオ・テッラノーヴァ氏やパリ国立高等音楽院ピアノ科教授イヴ・アンリ氏らをはじめ、世界的にもトップクラスの演奏者、指導者を招き、特別レッスンを行っています。さらに、総合大学ならではの多彩なカリキュラムから、音楽以外の教養を幅広く身に付け、専修での学びに生かすことができます。

年数回行う学内のオーディションで選ばれると、「定期演奏会」や「甲子園会館の音楽會」シリーズにおいてソリストとしてオーケストラとの協演やジョイントコンサート出演、学内の演奏会の出演のほか、アメリカのボールステイト大学でリサイタルを開催する機会も与えられます。

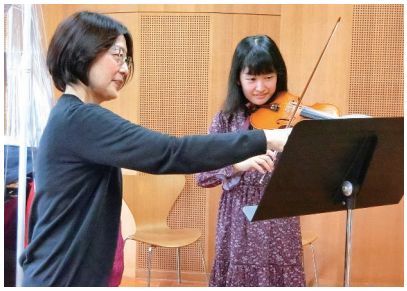
学びのポイント

POINT 1 数多い演奏のチャンス

学内でのコンサートをはじめ、ソリストとしてオーケストラと協演するなど、演奏のチャンスが豊富にあります。

POINT 2 学生の未来設計に沿った細やかな指導

一流講師による細やかな指導で基礎力を磨き、多様な音楽の場での活躍を目指します。また、指導者になるために必要な能力も身に付けていきます。



POINT 3 多彩な授業から音楽人としてのレベルアップを目指す

オペラ、合唱指導法、協奏曲、伴奏法、合奏など、各専修には充実した授業を用意しています。また、内外の著名な演奏家からレッスンを受けることができます。

声楽専修

上級学年で難曲に挑戦できるよう、下級学年で発声の基本を徹底します。また合唱やオペラに加え、「声楽演奏研究」ではイタリア・ドイツ・フランス・日本の歌曲、オラトリオ、重唱等を各分野のエキスパートから学びます。

ピアノ専修

個性を伸ばし確かなテクニックを習得するためのレッスンを行い、音楽の素晴らしさを表現する力を養います。また、他専修の学生と共に、アンサンブルの楽しさを感じながら、伴奏や室内楽の技術も身に付けることができます。

管弦楽器専修 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーン

個人レッスンにより独奏技術を高めつつ、管弦楽器奏者に必要な合奏技術を学びます。「合奏」では、管弦楽専修の全学生にプロの演奏家である教員のほか、学外の演奏家も加わり、演奏技術や知識をバランスよく学ぶことができます。

Students Voice 在学生からのメッセージ

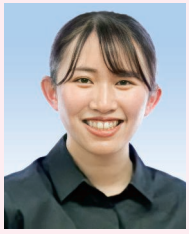
演奏学科
声楽専修3年
（奈良県立平城高等学校）
中村 采子さん

「いつか絶対にミュージカルの舞台に立つ」。そう言い続け、気付けば高校3年生になっていた私は、悩んだ末、夢に少しでも近づくために音楽学部への進学を決めました。大学に入学するまでの私にとって、クラシックを学ぶことはミュージカルのための基礎作りの一つでした。しかし、入学しクラシック以外の音楽も受け入れてくださる先生方の姿を見て、ジャンルにとらわれるのではなく、もっと広く自由に音楽を学ぶことの大切さに気付きました。そんなすてきな先生方の下で4年間学べるこの学科は、本当に魅力的だと思っています。

受験生の皆さんは心に秘めるものが多くあると思います。「大学受験」という機会に、自分自身、そして音楽と純粋に丁寧に向き合い、どうか今この時を大切に過ごしてください。

演奏学科
ピアノ専修3年
（山口県立下関南高等学校）
中林 咲綺さん

私は幼い頃から楽器を演奏することが好きで、表現力をもっと高めたいと思い音楽学部に進学しました。本学部は、資格取得や就職活動のサポートが充実しているのはもちろんのこと、幅広く音楽の知識を得る環境が整っています。大学の授業では高校のように受け身ではなく、自らが学び取る姿勢が大切だと私は考えます。主専の個人レッスンでは、先生は私ができるまで指導してくださいます。また、演奏学科では自分の演奏を他の学生に聴いてもらえる機会が多く、良い刺激を受け日々の練習にも力が入ります。地元を離れて一人暮らしをしていますが、朝から夜まで使える練習室のグランドピアノで集中して練習に取り組むことができます。恵まれた環境でさらに経験を積んで、自分なりの音楽を楽しんでいきたいと思います。



演奏学科
管弦楽器専修（ホルン）3年
（姫路市立琴丘高等学校）
増田 真奈美さん

私はホルンの演奏技術を高めつつ音楽の幅を広げたいという思いと、音楽の楽しさを伝えることのできる教員になりたいという思いから本学に進学しました。

マンツーマンの実技レッスンでは、先生からの具体的でわかりやすい指導を受け、技術を磨くことができます。演奏会への出演機会も多く、有意義な経験を積んでいます。特に、私は『第10回 関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル』に武庫川女子大学の代表として出演する機会をいただき、他大学の学生からたくさんの刺激を受け、大きく成長するきっかけとなりました。複数の大学の学生が集まって演奏するということで不安もありましたが、普段のレッスンで学んだ知識と技術を存分に発揮することができました。また、中学校・高等学校の教員免許取得だけではなく、小学校二種免許取得に向け勉強に励んでいます。自分の学びたいことを思う存分学ぶことのできる環境を生かし、日々精進しています。

応用音楽学科

Department of Applied Music

●音楽療法専修　●音楽活用専修

理論と実践を学び、音楽を様々な現場で生かす

応用音楽学科では、音楽の持つ様々な要素に注目し、音楽療法・アートマネジメント（芸術事業企画運営）・音楽教育等の分野で音楽と社会をつなぐ専門家を養成します。

社会と音楽をつなぐ分野の役割は、近年とても重要になっています。卒業後は、例えば音楽療法士、コンサートホールの企画運営部門担当者、音楽の指導者など、音楽を通して広く社会に働き掛けていく専門家を目指します。

カリキュラムにはピアノ、声楽共に45分間の個人レッスンがあるほか、その他の実技科目、音楽基礎科目、多分野にわたる講義・演習・実習があります。3年次よりゼミに分かれ、音楽療法と音楽活用の研究を深めます。

学びのポイント

POINT 1 音楽療法士の受験資格や中高教諭免許状が取得できる

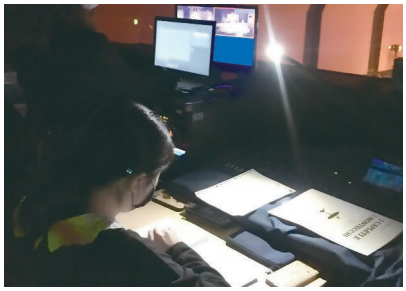
日本音楽療法学会認定 音楽療法士や中・高音楽教諭などの資格取得を目指したトレーニングをニーズに合わせてしっかりと行います。

POINT 2 少人数ゼミで興味に応じて音楽を学べる

研究テーマに沿ってゼミに分かれ、音楽療法、音楽活用、音楽教育や音楽心理学などを追究することができます。

POINT 3 実習や音楽企画で身に付く社会人基礎力

福祉や医療機関などでの音楽療法実習、学外で開催するコンサートの企画・運営などを通し、幅広い社会人基礎力を身に付けます。



音楽療法専修

音楽療法では、音楽の持つ多様で豊かな要素を活用して、様々な疾病や障がいを抱える人々への対人援助を行います。そのためには、臨床現場で相手のニーズに合わせて音楽を柔軟に使いこなす応用力や、医療、心理、福祉など関連領域についての幅広い知識が必要です。

音楽療法専修では、音楽が人間の心や身体に及ぼす様々な影響について学びつつ、音楽を通して人を支える専門家を育成します。音楽療法士になるために必要な日本音楽療法学会認定 音楽療法士の試験においては、毎年高い合格実績を挙げています。
（2022年1月 実施試験 **合格率100%**：受験者9名、合格者9名）

音楽活用専修

音楽活用専修では、社会の中で音楽の持つ力を積極的に活用していくことを学び、アートマネジメントや音楽教育、音楽心理学などの専門領域をより深く学びます。実践的なノウハウに加えて、学術的に芸術と社会の関わりを考えながら、学内外のコンサートの企画・運営を行うほか、音楽教育や音楽の演奏・聴取に必要な知覚認知、そのほか心の働きや行動について研究することができます。

コンサートホールなどの企画運営部門担当者のような音楽を活用するプロフェッショナルや音楽の指導者など、音楽を通して広く社会に働き掛けていく専門家の育成を目指します。

Students Voice 在学生からのメッセージ

応用音楽学科
音楽療法専修4年
（奈良県立登美ヶ丘高等学校）
中野 幸音さん

私は、音楽が持つ人への影響力や、自分が好きな音楽で人を支えられることに魅力を感じ、音楽療法を学びたいと思いました。

この学科では、音楽の知識や技能だけでなく福祉や医療、心理学などを学ぶことができます。幅広い知識や技術を身に付けることで視野が広がり、自信につながっています。また、少人数の学科なので、学生一人ひとりに寄り添って指導してくださり、先生と学生の距離が近いことも特長です。先生ご自身の経験や研究のお話は興味深く、面白いです。

実習では、4年間かけて様々な対象者と関わり、ニーズに合わせたセッションを見学したり、自分たちでプランを立ててセッションを行ったりします。授業の中でクライエントとセラピストの立場を経験し、クライエントとして感じたことはセラピストとなった時に生かすことができました。また、実習を通して学ぶ知識だけでなく、目の前のクライエントとの接し方や臨機応変な対応の大切さを学んでいます。

これからもたくさんの経験を積んで成長していきたいと思います。

応用音楽学科
音楽活用専修4年
（兵庫県立姫路南高等学校）
横山 南海さん

私はピアノの技能をより高めていきながら音楽を幅広く学びたいという思いがあり、個人レッスンを通して音楽の力を養いながら音楽心理学や音楽教育を学べるこの学科に進学を決めました。私には、子どもたちに心から音楽を好きになってもらいたいという夢があります。その夢に向け、音楽科教育に関連した科目に加え、音楽に関わる心の働きについて勉強しています。卒業論文ではショルダーキーボード演奏時の視覚・聴覚・触覚情報の役割を研究しており、指導者として鍵盤楽器を指導していく際、技能をスムーズに身に付けさせると共に、いち早く課題を見つけることに役立てたいです。

少人数制であるため先生との距離も近く、好きな分野について最大限に追究できる環境が整っているので、とても充実した日々を過ごしています。毎日音楽に囲まれ学生同士で学んだことや意見を共有し合う中で、音楽に対する視野が一段と広がり、より音楽が大好きになりました。音楽や音楽をする人について深く理解し、成長し続けたいです。

教員紹介 Instructor

専任教員（2022年度）

東京藝術大学卒業。イタリア・パルマ・A.ボイド国立音楽院修了。シエナ・キジアーナ音楽院夏期講習会参加。関西二期会、イタリア歌曲研究グループ会員。

新型コロナウィルス感染の収束が見えないこの長い閉塞感の中、世界中で人々は心の繋がりを求めています。その繋がりを作るための大きな力を持つ音楽を学ぶ皆さんを私たちは全力でサポートします。

声楽
教授
柏木 敦子

イタリア・ミラノ・G.ヴェルディ国立音楽院を称賛付きでディプロマ取得。平成26年度坂井時忠音楽賞、平成30年度兵庫県芸術奨励賞受賞。関西歌曲研究会会員。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。

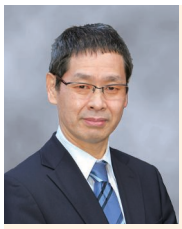
五感を研ぎ澄まし、美しいものを美しいと感じる心を養いましょう。見聞を広めて豊かな人生に繋がりますよう願っています。

声楽
講師
坂口 裕子

京都市立芸術大学大学院修了。音楽学部賞、神戸市文化奨励賞、音楽クリティック・クラブ本賞受賞。友愛ドイツリートコンクール第2位。『カルメン』タイトルロールはじめ、多数のオペラ、宗教曲等のソリストを務める。

音楽からの学びを通して心を豊かに、学生生活を豊かに、そして人生を豊かに送る設計図を一緒に描きましょう！

声楽
教授
福原 寿美枝



ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院修了。摂津音楽祭銀賞、JSG国際歌曲コンクール第3位、坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞等受賞多数。日本シューベルト協会副理事長。関西二期会、日本演奏連盟会員。

「音楽を学ぶ」ことによって、忍耐力、コミュニケーション力をはじめ、今後の人生を歩む上で必要な力、またどの分野でも必須の能力が養われます。どうかそのことを信じてください。

声楽
教授
藤村 匡人

相愛大学卒業後、同大学ピアノ研究生修了。H.ライグラフ、F.W.シュヌア氏らのマスタークラスを受講。宝塚ベガ音楽コンクール第3位入賞等の他、指導者としてピティナ「特別指導者賞」や日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」等度々受賞。

皆さんの若い才能、パッションに出合えることを楽しみにしています！

ピアノ
教授
今岡 淑子

武庫川女子大学 音楽学部 器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学 音楽学部専攻生課程修了。主に独唱、合唱、器楽の共演者として活躍。

レッスンでは表現したい音楽をイメージし、そのために必要な技術を習得して、喜びを感じられる音楽を一緒に探求していきます。ピアノを通して音楽に寄り添い、人生をより豊かなものにしていきましょう。

ピアノ
准教授
多田 秀子

桐朋学園大学卒業。ドイツ国立フライブルク音楽大学大学院修了。ヴィオッティ国際コンクール、セニガリア国際コンクール入賞。全日本学生音楽コンクール他、多くのコンクール審査員を務めている。

自然の中の音（風の音、鳥の鳴き声等）普段何気なく見ているもの（陽の光、自然の色彩等）に注意を払い、繊細な耳と感受性を養ってください。

ピアノ
教授
中村 伸吾

京都市立芸術大学卒業、パリ国立高等音楽院第3課程修了。ラフマニノフ国際ピアノコンクール第2位、リスト国際ピアノコンクール第3位等、受賞多数。

演奏能力向上のために何より大切なのは、基礎を固めることと感受性を高め美しいものへの探求心を持つことだと思います。夢や目標に向かって一緒に勉強しましょう！

ピアノ
教授
奈良田 朋子

桐朋学園大学、ハノーヴァー音楽大学、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学で学ぶ。演奏会出演多数。趣味はスイーツ巡り。

ピアノ演奏は心の表現です。作曲者の心を感じ取り、自分の心の中から生まれてくる音楽が、人の心を打つことが出来るよう皆さんの自主性を尊重しながら見守っていきたいと思います。皆さんが心の中に持っている可能性が育ち、花開くことを願っています。

ピアノ
教授
宮下 朋樹

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。音楽学部賞受賞。同大学院修了。京都フィルハーモニー室内合奏団のピアニストを経て、現在に至る。

理論を学ぶことは、作曲家の音符に込めた思いを理解する手がかりとなり、より説得力や表現力のある演奏につながります。皆さんが音楽家として成長していく姿を心より楽しみにしています。

音楽理論／ソルフェージュ
教授
松園 洋二

ミネソタ大学大学院音楽療法専攻修了。日本音楽療法学会認定音楽療法士、米国認定音楽療法士。博士（教育情報学）。

音楽療法士になりたい、音楽が心や身体に及ぼす様々な影響について知りたい、音楽を通して人と関わる中で自分を成長させたい、そのような皆さんのために、充実した学びの環境を用意してお待ちしています。

音楽療法
教授
一ノ瀬 智子

神戸大学教育学部・同大学院修了。奈良女子大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。日本音楽療法学会認定音楽療法士、臨床心理士、公認心理師、芸術療法士。刑務所・少年院音楽療法外部講師。

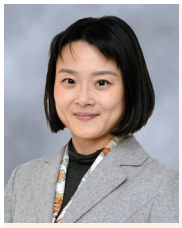
様々な課題を抱える人と出会い、生理心理社会的アプローチを通じて社会とつながっていく音楽療法のメカニズムをぜひ探究していきましょう。

音楽療法
教授
松本 佳久子

信州大教育学部卒、同修士課程修了。博士（教育学、東京学芸大）。高等学校講師、大阪大運動制御学講座RA、ヤマハ音楽振興会研究員、京都市立芸術大/JSPS特別研究員PD、京都大こころの未来研究センター研究員等を経て現職。

音楽を教えるプロフェッショナルになるための勉強をサポートします。音楽・演奏のなりたつ「しくみ」について、一緒に追究してみませんか？

音楽教育／心理学
准教授
大澤 智恵



文化庁在外研修員としてパリ第10大学留学。音楽の文化政策、アートマネジメントを研究対象とする。

音楽は社会のいろんな分野と繋がることで、その可能性は広がります。必要な知識に加え、グループや個人での実習などを通して、実社会で音楽を活用できる企画力や運営力を身に付け、皆さんが社会に羽ばたいていけるようサポートしていきます。

音楽活用
准教授
永島 茜

非常勤講師（2022年度）

秋本 靖仁 声楽
大阪芸術大学大学院修了。オペラをはじめ宗教曲、合唱作品のソリストを務める。大阪芸術大学、相愛大学非常勤講師。関西二期会準会員。

老田 裕子 声楽
大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。ミュンヘンにて1年間学ぶ。日本音楽コンクール歌曲部門入選、松方ホール音楽賞大賞、文化庁芸術祭音楽部門新人賞受賞。

大森 地塩 声楽
関西学院大学法学部・京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。1984年ドレスデン国立歌劇場スタジオソリスト契約。2001年Vivava Opera Companyを設立。2004年からヘンデル作曲の9作品を指揮、演出、制作し日本初演を行う。

日下部 祐子 声楽
京都市立芸術大学大学院博士課程修了、博士号（声楽）。同大学講師。文部大臣奨励賞・関西日仏学館賞他。友愛ドイツリートコンクール第1位。

篠原 美幸 声楽
奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位。松方ホール音楽賞大賞。大阪教育大学・京都女子大学・同志社女子大学非常勤講師。関西二期会会員。日本歌曲演奏・指導に力を注ぐ。

谷村 由美子 声楽
京都市立芸術大学大学院修了、フランス国立パリ高等音楽院第3課程修了。京都青山音楽賞、京都市芸術新人賞受賞。大阪音楽大学、京都市立芸術大学大学院非常勤講師。

福嶋 勲 声楽
奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、《波の会》日本歌曲コンクール第1位ほか受賞。神戸市混声合唱団コンサートマスター、大阪音楽大学ミュージカルコース講師。

家永 摩利子 ピアノ
桐朋学園高等学校を経て桐朋学園大学演奏学科卒業。日本演奏連盟及びNHK洋楽オーディション合格。

岩谷 寿美子 ピアノ
京都市立芸術大学音楽学部ピアノ科卒。リサイタル、アンサンブルなどの演奏活動を行う。

右近 恭子 ピアノ
ルツェルン音楽祭エドウィン・フィッシャー賞、大阪文化祭本賞、ライオンズクラブ賞、クリティックスクラブ賞等を受賞。同志社女子大学嘱託講師、神戸女学院大学非常勤講師。
http://klavier-yasuko-ukon.jimdo.com/

中村 太紀 ピアノ
京都市立芸術大学卒業。ドイツ・フォルクヴァング芸術大学大学院修士課程修了。大阪府立夕陽丘高校音楽科、相愛大学、大阪教育大学、各非常勤講師。
HP:https://taikinakamura.jimdo.com

松川 南海 ピアノ
武庫川女子大学卒業。デトモルト音楽大学ミュンスター校大学院修了。全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。

山本 麻代 ピアノ
武庫川女子大学音楽専攻科修了。同大学オープンカレッジ・堺シティオペラアカデミー伴奏要員。

奥野 敬子 ヴァイオリン、ヴィオラ
東京藝術大学卒業。同大学院修了。神戸フィルトレーナー、岡山フィルヴァイオリン奏者。神戸山手女子高校音楽科非常勤講師。

北口 晋之 チェロ
関西フィル首席チェロ奏者を経て、関阪アカデミー管弦楽団代表。ユニオン弦楽四重奏団を主宰。

末原 諭宜 フルート
大阪交響楽団フルートソロ元首席奏者。京都市立芸術大学卒業。パリリ・F・A・M国際コンクール第1位。京都芸術祭京都府知事賞受賞。

横田 賢司 クラリネット
東京藝術大学、デトモルト音楽大学卒。草津夏期国際音楽アカデミー等に出演。ドルチェ・ミュージック・アカデミーOSAKA講師。

髙畑 次郎 サクソフォン
国立音楽大学卒業。オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラサクソフォン奏者。大阪音楽大学非常勤講師。

岡田 喜美子 ホルン
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。大学派遣によりフライブルク音楽大学に交換留学。オーケストラ、室内楽などで活動。

村上 哲 ホルン
京都市立芸術大学音楽学部卒業。第59回日本音楽コンクール最高位。京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団を経て京都市立芸術大学音楽学部教授。相愛大学非常勤講師。

秋山 裕子 チェンバロ
大阪芸術大学、デトモルト音楽大学チェンバロ科最高位卒業。大阪芸術大学非常勤講師。日本チェンバロ協会運営委員を歴任。

宇野 文夫 作曲／楽曲分析／ソルフェージュ
作曲家。評論家。専門は、現代音楽及びクラシック音楽。神戸学院大学人文学部教授。

神山 年子 電子楽器
ヤマハ音楽教室講師、音楽能力検定ハイグレード試験官兼務。元ヤマハ本社音楽スタッフ。

唐谷 裕子 舞台演出
大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。同音楽専攻科声楽専攻[演出]第1期生修了。神戸音楽家協会会員[演出]。日本舞踊山村流名取り。

菊萌 文子 邦楽
日本の伝統楽器である箏・三絃・胡弓の奏者として、舞台等にて活動。

小竹 敦子 音楽療法
神戸女学院大学ピアノ科卒。ラドフォード大学大学院音楽療法修士修了。音楽誘導によるイメージ療法資格取得。京都大学大学院医学研究科博士課程在籍中。

小味渕 彦之 音楽学
関西学院大学大学院修了。多くの演奏会でプログラムノートを執筆する。コンサートホールのステージマネージャーを長年にわたって務めてきた。

角南 北斗 情報教育
大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了。専門は情報教育のほか、日本語教育、ウェブデザイン、デジタル教材開発、プレゼンテーションなど。

髙谷 光信 指揮
東京混声合唱団指揮者。ウクライナ・チェルニーゴフ交響楽団常任指揮者。オペラ・オーケストラ指揮を専門に活動。大阪芸術大学客員准教授、名古屋芸術大学非常勤講師。

瀧 真子 医学
山口大学卒業。小児科臨床医(専門分野 小児血液疾患)として病院勤務の後、公衆衛生医師として保健医療行政に携わる。社会医学系専門医・指導医。兵庫県音楽療法士。

西野 桂子 アートマネジメント／文化政策
京都橘大学大学院修了、博士（文化政策学）。特定非営利活動法人「音の風」代表理事。京都市岡崎いきいき市民活動センター センター長。

三辻 美季 臨床心理士
中京大学大学院博士後期課程満期退学。ユング研究所（ISAP ZURICH）に留学。臨床心理士、公認心理師。

森川 陽子 作曲／ソルフェージュ
大阪音楽大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。現音作曲新人賞受賞、日本音楽コンクール作曲部門入選、聴衆賞受賞。大阪音楽大学非常勤講師。

諸岡 由依 音楽療法
武庫川女子大学音楽学部卒業、同大学大学院文学研究科臨床心理学専攻修士課程修了。日本音楽療法学会認定音楽療法士、臨床心理士、公認心理師。

横守 稔久 音楽事業
近畿大学商経学部経済学科卒業。兵庫県立芸術文化センター楽団部プロデューサー。養父市文化会館（仮称）整備事業にかかる各種委員。日本オーケストラ連盟運営委員。

渡邊 静穂 音楽療法
日本福祉大学大学院修士課程社会福祉学研究科修了。社会福祉士、精神保健福祉士、日本音楽療法学会認定音楽療法士。

＜予定＞ **大島 弥州夫** オーボエ
常田 麻衣 ファゴット
吉田 治人 トランペット
戸澤 淳 トロンボーン

資格・就職
Certification and Find job

取得可能な免許・資格

演奏学科

教員免許状

中学校教諭一種（音楽）
高等学校教諭一種（音楽）
●● 小学校二種

諸資格・免許

カワイピアノグレード6級
● 学校図書館司書教諭
図書館司書
博物館学芸員

応用音楽学科

教員免許状

中学校教諭一種（音楽）
高等学校教諭一種（音楽）
●● 小学校二種

諸資格・免許

日本音楽療法学会認定 音楽療法士受験資格
● 学校図書館司書教諭
図書館司書
博物館学芸員

●…教育学科の科目を聴講することにより免許取得の道が開かれます。　●…中高の免許状を取得することが前提です

卒業後の進路について

キャリアセンターおよびキャリア支援担当をはじめとした音楽学部教員が、きめ細やかに一般企業や自治体等への就職を支援しています。学部卒業後、より深く音楽を追究したい学生には、本学音楽専攻科（修業年限：1年）へ進学する道が開かれています。また、国内外の大学院および音楽院等への留学を希望する学生の相談に応じ、希望に沿った学ぶ機会が得られるよう指導に力を入れています。卒業生には、国内外で演奏家として活躍する人、音楽教師として後進の指導に当たる人、音楽療法士として福祉や医療の場で貢献する人、音楽関連企業をはじめとする一般企業で活躍する人などがいます。さらに、本学では学校教育センターを中心にしたきめ細やかな教員採用試験対策を行っており、近年の教職に就くことが難しい中でも高い採用実績を残しています。多くの卒業生が音楽を生かし、身に付けた力をさまざまな分野で発揮しています。

各学科 卒業後の進路

演奏学科

主な就職先（過去3年間）

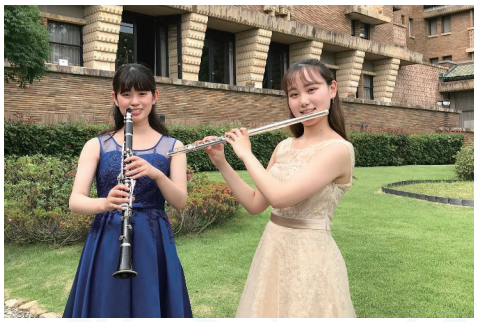
●公立学校教員（神戸市、愛知県）、日本放送協会、一般財団法人ヤマハ音楽振興会 西日本鍵盤・普及事業部、株式会社やぎ楽器、株式会社ゴトウ・アズ・プランニング、アニエスベージャパン株式会社、株式会社アーカー、プリモ・ジャパン株式会社 等
※過去数年では、公立学校教員（大阪府、奈良県、愛媛県 等）、島村楽器、コウキ商事、尼崎信用金庫、三井不動産リアルティ、神戸マツダ、ネッツトヨタ神戸 等

応用音楽学科

主な就職先（過去3年間）

●公立学校教員（神戸市、兵庫県、石川県 等）、兵庫県商工会連合会、医療法人内海慈仁会 有馬病院、社会福祉法人 希望の家、特定非営利活動法人 きららの木、医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル、皇漢堂製薬株式会社、株式会社バオバブ、オークニ商事株式会社、株式会社山忠商会 等
※過去数年では、公立学校教員（大阪府、兵庫県 等）、クリナップ、福山通運、コスモス薬品、東洋証券、アクティング、ソラスト 等

ほか多数（正規および一部契約採用を含む）



Graduates Voice
卒業生からのメッセージ

演奏家
2011年度音楽専攻科声楽専攻修了
2010年度声楽学科（現 演奏学科）卒業
（私立賢明学院高等学校）
倉橋　緑さん

子供の頃から芸術表現が好きだった私は声楽の道に進みました。在学中はたくさんの発表の機会に恵まれ、充実した学生生活を送ることができました。在学中に初めて参加した「カルメン」の公演でオペラの熱気と感動を体感したことがきっかけとなり、オペラの道に進むことを決心しました。卒業後は専攻科を経て、イタリアのパヴィア音楽院で世界的な歌手に師事しました。国籍など関係なく純粋に音楽を愛する人達との音楽漬けの毎日は、自己発見や視野を広げることにつながりました。

帰国直後に日本オペラの大役をいただき、悪戦苦闘の日々でしたが、大舞台を乗り越えたことが自信となり歌手としての第一歩を踏み出せたと思います。最近ではオンライン公演やソロリサイタルに挑戦し、NPO法人の活動にも携わっています。舞台人として自分が貢献できることは何なのか、常に考え活動しています。武庫川女子大学での恩師や仲間との出会い、学びや機会、すべてが現在そして未来につながっていると感じています。

プリモ・ジャパン株式会社勤務
2021年度演奏学科ピアノ専修卒業
（私立大阪夕陽丘学園高等学校）
西田 瑠音さん

私は、就職活動に力を入れるために、キャリア支援が充実している武庫川女子大学に入学しました。3年生の夏から就職活動を始め、キャリアセンターに通い自己分析、インターンシップ参加、面接練習などをしながら、自分が将来何をしたいのかを考えました。コロナ禍であったため、インターンシップや面接はオンラインで行われ、慣れない環境に戸惑いました。そうした中で、キャリアカウンセラーの方のサポートに支えられ、3年生のうちに内定を2社いただくことができ、仲間と共に目標を持って働くことができる環境であると感じた会社に決めました。

私は、音楽学部で沢山の目標を持って、仲間と共に勉強してきました。厳しいレッスンや、たくさんの本番、心が折れそうな時もありましたが、私の隣にはいつも頑張っている仲間がいたので、良い刺激を受けながら目標に向けて努力することができました。4月からは音楽から離れた世界になりますが、武庫女で学んだことを生かして、自分に厳しく、人をハッピーにすることができるような社会人になりたいと思います。

医療法人社団龍岡会
龍岡介護老人保健施設勤務
2015年度応用音楽学科音楽療法専修卒業
（大阪府立布施高等学校）
駒井 佑香さん

現在、音楽療法士として勤務しています。職場では集団や個別などのセッションの実施以外にも、関連施設で勤務している音楽療法士の方と一緒に学会発表に向けて取り組むなど、日々刺激を受けながら勤務しています。

大学では、音楽療法士を目指すために必要な医学や福祉など様々な分野を幅広く学びました。音楽療法士になった今、高齢の方との関わり方や病気を持っている方の症状など、働く上で重要なことをこの大学でしっかりと学ぶことができたと感じています。また、実習などで先生や学生同士が意見交換する機会がとても多く、音楽療法士を目指す方はぜひ本学科で切磋琢磨しながら知識を深め、成長していただきたいと思います。

これからも、音楽療法士としてその人その人に合った関わりを持てるように、クライエントの様子を見落とさず丁寧に取り組んでいきます。

Students Voice
在学生からのメッセージ

演奏学科声楽専修4年
（大阪府立豊島高等学校）
中村 香菜子さん

音楽を通してずっと子どもたちとつながっていたい、大好きな音楽を学び自分自身の感性を育てたいという思いで本学に入学しました。

演奏学科の専門科目はとても充実しています。さらに、教職を目指す学生のための授業も数多く開講されています。「音楽科指導法」では、音楽教育において何が生徒のために効果的なのか、プレゼンテーションを通じて意見を出し合いました。また、受講している学生の前で模擬授業を行い、指導の仕方について意見を交わし、自分自身を俯瞰して客観的に見ることができました。

「教員採用試験特別講座」では、個別やグループで面接練習があるほか、様々な講座で小学校や中学校等での教員経験のある先生方の手厚い指導を受け、試験対策に備えることができます。

この恵まれた環境を生かしてもっと自分自身を磨いていきたいと考えています。

応用音楽学科音楽療法専修4年
（和歌山県立田辺高等学校）
那須 美咲希さん

高校の時に音楽に携わる仕事がしたいと思い、音楽療法や、音楽教育、アートマネジメント等、音楽を多方面から学ぶ環境が整っている応用音楽学科への進学を決めました。入学してからは、音楽学部の有志で活動する「浜甲カンタービレ」や、音楽療法のボランティアに積極的に参加し、貴重な経験を重ねました。様々な活動をする中で、音楽療法士が所属している施設でのインターンシップにも複数参加しました。そのほか、キャリアセンターが主催するインターンシップにも参加し、現場で1日の流れを体験しました。企業の方から直接お話を聞くことができ、就職活動への意欲を掻き立てられました。

就職活動をしようと考えてからは、頻繁にキャリアセンターで相談しました。どのような方向へ進むべきか、今自分は何をすればよいか。いつも、どんな質問にも丁寧に真剣に向き合ってくださり、励ましのお言葉もいただきました。

先生やキャリアカウンセラーの方はじめ、支えてくださる方々への感謝を忘れず、残りの学校生活を有意義なものにしていきたいと思います。

演奏会紹介
Concert

定期演奏会

12月に定期演奏会を開催。会場は公江記念講堂（定員2,430席）です。「合唱」「合奏」の授業の成果を発表する場でもあり、オーケストラとともに演奏する醍醐味を味わうことができます。これまで、ヘンデル「メサイヤ」やモーツァルト「レクイエム」等の代表的な宗教曲を演奏してきました。

2021年度は松下耕 女声合唱曲集「そのひとがうたうとき」（全3曲）、Cantate Domino in B-Psalm96、F.メンデルスゾーン「交響曲第1番ハ短調Op.11 MWV N13」を演奏しました。

甲子園会館の音楽會

年3回、国登録有形文化財（文化庁）である甲子園会館（上甲子園キャンパス内）において演奏会を行っています。この演奏会は広く一般に開かれたもので、遠方からも多数の来場者があります。学生、卒業生、教員や著名な演奏家が出演。音楽学部が開催するものとして、楽しみながらも知識を得られるよう工夫したプログラムを提供しています。

6月に行う「武庫川コンサート」は、音楽活用ゼミが企画・運営し、オーディションによって選ばれた学生が出演します。クラシカルでレトロな会場の雰囲気と相まって、毎回「大変豊かな時間を過ごすことができた」と好評をいただいています。

音楽療法講演会

「子どもの音楽療法」をテーマとした講演会を毎年開催。講師には、日本における障がい児の音楽療法の第一人者や音楽家、また海外からはヨーロッパ音楽療法連盟会長やアジアを代表する音楽療法士を招いています。

2022年2月には第11回をオンラインにて開催しました。これまで音楽心理療法や療育的音楽活動など、各講師の多岐にわたる専門領域における長年の豊富な実績から、発達障がいなど様々な課題を抱える子どもに有効な音楽療法を紹介し、また手作り楽器や即興演奏の実演なども行いました。このほかにも講演会の一環としてシンガポールの聴覚特別支援学校生徒によるコンサートを開催し、子どもたちが素晴らしい演奏を披露しました。

学生や特別支援教育に携わる教職員、音楽療法士や福祉関係者、障がい児の保護者、学生など、毎回100人~160人が参加し熱心に聴講され、講演の後は活発な質疑が行われています。

武庫川新人演奏会

武庫川新人演奏会は、演奏家としてのデビューを飾る演奏会です。学外のホールで開催し、出演者は、演奏学科「卒業演奏」（4年次後期科目）の成績優秀者です。

卒業式を終えたばかりの2021年度の卒業生は、兵庫県立芸術文化センター小ホールで4年間の成果を披露。卒業したばかりの新人演奏家はこれまでお世話になった方々への感謝とこれから社会に羽ばたく決意をもって演奏しました。

海外との交流
International exchange

海外研修

専門領域の学習を深め、世界とのつながりを体験できる貴重な機会として、海外での研修を行っています。

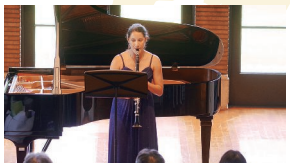
2018年3月、演奏学科では声楽専修・管弦楽器専修を対象にイタリア・パルマにおいて国立音楽院教授による研修を行いました。また、同時期にピアノ専修を対象にノルウェー・オスロにてハノーヴァー国立音大およびノルウェー国立音大元教授による研修を行いました。学生たちはヨーロッパの歴史や文化に直接触れ、自らの音楽性を一層高めることができました。2019年はドイツのドレスデンで実施しました。

応用音楽学科では、これまでドイツやベルギーで音楽療法の講義を受け、地元の病院見学と実習、現地の大学生との交流など充実したプログラムを実施し、2015年3月にはシンガポールで研修を行いました。2019年の研修先はチェコのプラハでした。

研修の有無や行き先は、年度によって異なります。

※海外研修にかかる費用は、学費とは別に必要です。

ボールステイト大学との交流



毎年オーディションによって選ばれた演奏学科の学生が渡米し、インディアナ州にあるボールステイト大学に約1週間滞在します。大学の教員・学生からの歓迎を受け、楽しみながらいろいろな経験ができます。また、滞在中に大学のホールにおいてリサイタルを行います。

同大学の学生も毎年1週間来学して本学部の学生と交流を深め、演奏会を行っています。音楽を学ぶ同年代のアメリカの学生と接することができる貴重な機会です。来学する学生は音楽面以外でも積極的に日本を知ろうとする意識が高く、多くの面で刺激を与えてくれています。

褒賞・奨学金制度

褒賞制度

「公江特待生」「大河原学院長賞」があります。学業・学友会活動・その他で、在学中に優秀な成績を収めた学生に与えられる栄誉ある賞です。褒章状・褒賞金を授与されます。

奨学金制度（学内）

武庫川学院奨学・武庫川学院鳴松会奨学・武庫川学院創立80周年記念特別奨学などがあります。

奨学金制度（学外）

日本学生支援機構（本学は「高等教育の修学支援新制度の対象機関」です）・木下記念事業団などがあります。

演奏奨学生制度（演奏学科）

演奏奨学生入試に合格すると、学費・入学金が全額あるいは半額免除となります。
（対象：声楽専修、ピアノ専修）。

公江千鶴子記念演奏コンクール（演奏学科）・論文コンクール（応用音楽学科）

音楽学部で長く教鞭を取られた故公江千鶴子先生のご厚志により、優秀な学生の学びを支援するコンクールを年1回開催します。最優秀者1名に褒賞金5万円を授与します。対象は演奏奨学生を除く1年生～4年生で、毎年度応募することができます。

演奏奨学生の早矢仕 千尋さん
2020年度日本クラシック音楽コンクール全国大会第2位（最高位）、ベーテン音楽コンクール全国大会第1位、2021年度第3回京都国際音楽コンクール金賞および京都市長賞

地域との交流
Regional exchange

浜甲カンタービレ

演奏学科と応用音楽学科の学科・学年を超えた有志が集まり、「浜甲カンタービレ」として2012年度から活動。浜甲子園団地の住民や近隣の方を対象に、演奏者と来場者が共に楽しめる参加型音楽会を提供しています。音楽会本番までの練習会も盛んで、学生が協力して住民による合唱団が結成されるなど、地域の活性化を目指したまちづくりに大きく貢献しています。この活動は、学内はもとより兵庫県の事業に採択され、支援を受けました。近年さらに活動の幅を広げ、浜甲子園から甲子園、そして西宮市外でも自治体と連携して活動しています。音楽会に参加される方々が音楽学部の演奏会にお越しになるなど、交流は広がり、深まっています。

参加している学生は、企画、運営、演奏、広報活動など様々なことを行っています。こうした経験はキャンパス内では得られないものであり、平素の学びを実践し、社会に還元する貴重な機会となっています。

音楽活用実習

応用音楽学科４年次開講科目「音楽活用実習」では、公立文化施設や市民団体と協同し、学生企画による音楽事業を行います。開催地のニーズを把握し、様々な企画案から実際に実施可能な企画に絞り込み、プレゼンテーションや、現地での打ち合わせなど実践的な制作過程を体験し、本番を迎えます。

2021年度は、兵庫県養父市「やぶ市民交流広場オープンハウス」で音楽イベント「MUKO　MUSICA（ムコ ムジカ）」を開催しました。やぶ市民交流広場との共同企画により多彩なプログラムを提供。楽器体験では音楽療法で使う珍しい楽器も並び、子どもたちが興味深そうに手に取っていました。学生と即興で合奏する機会もあり、音楽を楽しむ人たちの笑顔があふれました。「ミュージック・イン・セラピー」では、音楽療法専修生が音楽療法について説明し、学生の合図に合わせて来場者が音楽に合わせて体を動かしました。「ファビュラス・コンサート」では、本学卒業生、音楽専攻科や演奏学科の学生も出演。コロナ禍の中、久しぶりの音楽イベントに、会場は大いに盛り上がりました。

Voice

演奏学科 ピアノ専修3年
（大阪府立和泉高等学校）
栢原 実央さん

私は浜甲カンタービレの活動を通して多くのことを学んでいます。地域の方々と音楽を通して触れ合い、楽しいひとときを共有する活動は、普段の授業では体験できない貴重な時間です。

新型コロナウイルスの影響により対面での活動が制限される中で、どうすれば参加される方々に身近に感じていただけるのか、楽しんでいただけるのかを考えることは、良い経験となり、臨機応変な思考力や行動力、知識を身に付けることができ、将来の自分に役立つ力になったと感じています。

学科・学年を超えて作りあげる演奏には達成感があり、地域の方々の笑顔や感謝の声などに、感動することも多くあります。

浜甲カンタービレでの音楽活動を通して、たくさんの方と関わり、大学生活が一層充実したものになったと感じながら日々を過ごしています。

Voice

応用音楽学科 音楽療法専修
2021年度卒業
（私立神戸山手女子高等学校）
増田　茜さん

音楽イベント「MUKO MUSICA（ムコムジカ）」では、五感で感じる一日をコンセプトに、音楽療法の体験コンサートや歌とピアノのコンサート、楽器体験などを行いました。私は多くの人に音楽療法を知ってもらいたいと思い、音楽療法の体験コンサートを企画し、総合司会を務めました。

本番を経て、想像以上にお客様が積極的に参加くださったことが印象に残っています。コンサートの最後に「ふるさと」を合唱したときには、会場全体に一体感が生まれ、改めて音楽の力を感じました。養父市の地域貢献活動に関われたことを誇りに思うと同時に、音楽を通して人と感動を味わう機会を得られたことをありがたく思います。このイベントでの出会いと経験から、今後も必要とする人々に音楽療法を届けられるよう、音楽療法の貢献活動にも積極的に取り組んでいきたいです。

Question and Answer

01 演奏奨学生制度について教えてください。

演奏学科の演奏奨学生入試に合格すれば、学費を半額あるいは全額給付、入学金（入学申込金）を半額あるいは全額免除となります（対象は声楽専修、ピアノ専修）。また、実技レッスン回数は2倍、特別レッスンは優先受講できます。

02 卒業後の進路についてのサポートはありますか？

キャリアセンターでは、様々な説明会やインターンシップを実施。一般企業などへの就職に向けたサポートだけでなく、音楽学部の進路支援も手厚く行っています。また、学校教育センターでは教員になるための様々なサポートを行っています。

03 下宿希望ですが、ピアノは持っていかないといけませんか？

ピアノを備えた練習室が40室あり、学生は無料で原則8時から20時まで使用できます。約30室にグランドピアノを設置しており、全室エアコン付きです。

04 海外の大学との交流はありますか？

学内のオーディションに合格するとアメリカのボールステイト大学に交換留学生として派遣され現地でリサイタルを開催できます。渡航費、滞在費は必要ありません。

05 海外研修はありますか？

学科ごとに、ドレスデン（ドイツ）、パルマ（イタリア）、プラハ（チェコ）などで1週間から10日程度の研修を行っています。

06 音楽学部以外の授業を受講できますか？

共通教育科目では、学部、学科関係なく受講できる授業を200以上開講しています。
そのほか、例えば卒業後自宅でピアノ教室を開きたいと考えている学生が経営学部のマーケティングや経営学に関する授業を受講するなど、学生の学ぶ意欲に応えています。

夏期講習

毎年8月上旬に夏期講習を実施しています。
2022年度は8月5日（金）～7日（日）です。

受講対象	満12歳以上の女子（高校既卒者含む）
内　容	楽典、実技レッスン
会　場	武庫川女子大学中央キャンパス音楽館

※詳細はホームページでご確認ください。

Voice

演奏学科
管弦楽器専修3年（サクソフォン）
（兵庫県立姫路南高等学校）
黒田 陽菜さん

私は少人数制ならではのアットホームな雰囲気で学べることに魅力を感じ、本学に入学しました。
高校3年生の夏に夏期講習に参加し、楽典と聴音の講習を受けました。一人ひとりの理解の進み具合に合わせて授業を進められたのでとても分かりやすく、落ち着いて講習を受けることができました。また、専修であるサクソフォンのレッスンでは、マンツーマンで技術的な面はもちろん、フレーズ感や楽器での情熱的な歌い方など様々なアドバイスがありました。思い返せば、大学の授業と変わりない充実したレッスンでした。
大学では、他学年とのアンサンブルの機会もあり毎回刺激のあるレッスンでとても楽しく受講しています。現在はオーディションで出演が決まった「武庫川コンサート」に向けて、ピアノ伴奏者と切磋琢磨しながら演奏の質を高めています。
一人ひとりのペースにあった指導を受けられる本学部でこれからも大好きな音楽を追求していきたいと思います。

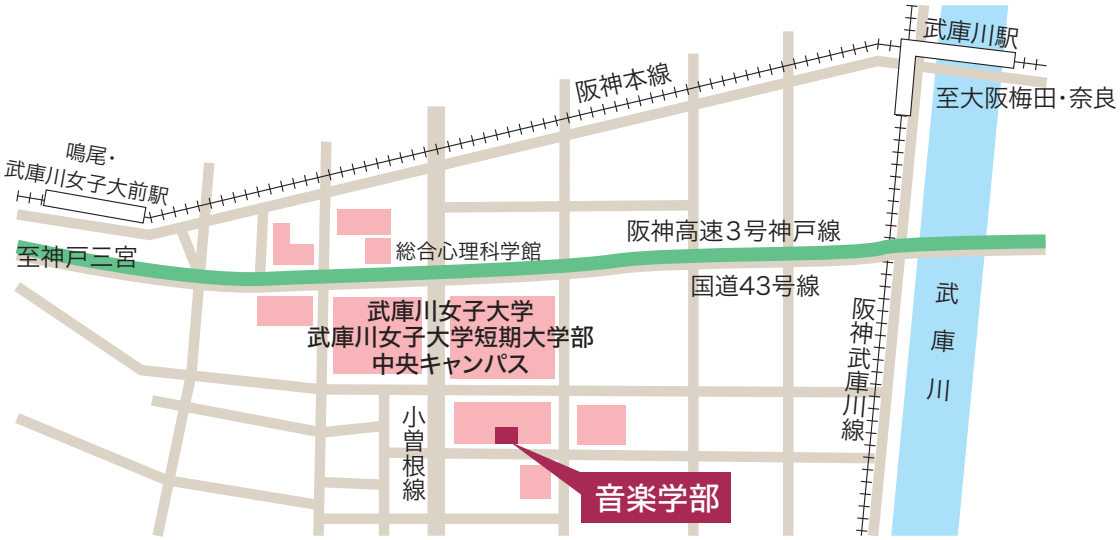
オープンキャンパス情報

●2022年度 オープンキャンパス日程

6/18(土)　7/9(土)10(日)　8/11(木・祝)12(金)　9/25(日)

時間 12:30～16:30　場所 中央キャンパス

※日程および内容は変更になる可能性があります。
詳しくはホームページをご確認ください。



武庫川女子大学をより知っていただくため、この学科パンフレットとともに大学全体を紹介する「キャンパスガイド2023」をお読みください。
個性輝く女性を社会に送り出すための武庫川女子大学の学び、一人ひとりのキャリア形成をサポートする進路就職支援など、本学の魅力を紹介しています。

武庫川女子大学 音楽学部
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
TEL.(0798)45-3580(音楽学部)
TEL.(0798)45-3500(入試センター直通)

テレフォンサービス(24時間)
入試情報／TEL.(0798)45-8888
学科ホームページ　https://www.mukogawa-u.ac.jp/~music/
大学ホームページ　https://www.mukogawa-u.ac.jp/

※掲載の写真はコロナ禍以前の平常のキャンパスにて撮影したものも含みます。
※コロナ禍以降の取材撮影は、十分な感染症対策を講じた上で行っています。